

居合道 だより

第 188 号





はじめに

—— 「居合の移り変わり」 ——



居合道部 理事 吉田 初喜

居合の始祖と云われる林崎重信公より数百年の時代を超え令和の今日まで脈々と継承されていることは誠に喜ばしいことである。それを伝承すべく修練者の指導法稽古法（練習法）も時代の変化と共に変わりつつあると思われる。

私が居合を始めた昭和40年代の指導（教え）は古流の礼法を習い居合の基本である初伝の初発刀を教えられ、それをしっかりと稽古（練習）してから次の技を習うという稽古でした。またそれに対しての指導とか助言というのはさほどなく、ただひたすらに抜くだけの稽古でした。刀と云えば樋の無い長くて重い刀で、その教えは長いものを短く遣い、重たいものを軽く遣えとのことでした。今では考えられない事です。

当時の先生方や先輩の居合は癖のある泥臭く、汗臭く、どこか田舎くさい剣風でそれが個性となり汗で錬り上げられた居合であり、観る側が感銘を受ける演武が多々ありました。

人間国宝になられたある落語家さんの話の中で、また前座のころ師匠に「落語を教えてください」と言ったところ、そのお師匠さんの言うことには「お前は俺の弟子なんだから“盗め”」と言われ、ひとつも教えてはもらえなかったそうです。今思えば、昔の芸事の教えと云うのは皆そうだったのかなと思うところです。現在はどうでしょう？。

昭和43年5月の京都大会で披露され翌44年に制定され、その後幾つかの改正追加のちに現在の全日本剣道連盟制定居合が施工されました。当初は剣道家への普及のねらいもあり剣道の高段者を対象にした講習会も各地で開かれていました。当時の制定居合は7本目三方切りまでで居合人はさほど制定居合を重視してなくて、もっぱら古流中心の稽古でしたが、ある時期より全日本居合道大会の指定技に入り始めた頃より全剣連主催の制定居合の講習会が各地で開催され居合人にも普及し始めました。

発足より50数年制定居合の普及は名実ともに世界の制定居合に成長しました。いまや、試合、審査会にも制定居合が多く取り入れられ特に六段から八段までの審査においては全てが制定居合となっています。

とある講習会で5段の受講生の話の中で、古流は初伝までは習ったけどその後は習っていないことを聞き当惑した経験もあります。時代の流れでしょうか？

全剣連の地区講習会に於いても以前のような古流の指導、稽古は無く制定居合に重心を置かれ、古流の技の決まり事及び所作等を指導できる先生が少なく危惧の念を抱くところです。一部を除いて各教場の稽古（練習）も種々の事情のある中で、制定居合中心の稽古（練習）にならざるを得ないのが現状でしょう。また指導の先生方も熱心のあまり手取り足取り親切丁寧に指導されている光景が見受けられるのも時の流れでしょう。

古流に於いては同じ流派、同門でも時の状況により多少の違いがあるのは仕方ないことでしょうが、その時の先師の教えに従い、その時期に自分が習ったことを次の世代に伝えていくことが自分の使命と思い、微力ながら奮励努力しています。

主な活動

2月27日 地域稽古会（飯塚） 庄内交流センター（中止）

3月・4月の予定

3月13日 福岡県居合道段位審査会（初～五段） 福剣連
福岡市総合体育館

4月10日 第52回「(公社)福岡県剣道連盟「武道祭」
福岡武道館

（新型コロナウイルスの感染状況により変更になる場合がございます）

編集後記

先週までブルブル震えるような寒さだったのに、ようやく寒さもやわらぎ、春めいてきました。

1月「いぬる」、2月「にげる」、3月「さる」といいますが、もうあっという間に3月、コロナにビクビクしながら稽古もおぼつかず、まんまと2月に逃げ切られました。

私どもは、今現在でまだ稽古場が使えるので、ソーシャルディスタンスをキープしながら、オンラインも駆使しながら、稽古しております。

オンラインで稽古する場合相手がどこで稽古するか確認とどういうメニューにするかと「画角」がポイントのようです。単純なライブ配信だけなら、スマホとスタンドがあればできます。今私どもではマイク付きのイヤホン、スマホで行っておりますが、そろそろ老眼も入ってきてるので、何をやってるかはかなり近づかないと見えません。また複数人になった場合は必然的に小さくなるので、大きな画面が必要となります。なので、その時々に合わせてスマホだったりタブレットだったりを駆使しております。

さて、3月には段位審査会、4月以降で来年度の予定一発目に「武道祭」が予定されています。忌々しいコロナの状況がどう転ぶかによりますが、開催する前提で話が進んでいるようです。なんとか開催できると嬉しいですね。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第188号 令和4年3月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW